

日本地球電気磁気学会会報(第17号)

1965年3月20日

日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区弥生町3

東京大学理学部地球物理学教室内

電話：812 2111 内線 6476

振替 東京 4860

委員長選挙結果報告

学会次期委員長選挙は第16号会報に記しました手順で行なわれました。多数の会員の方々から投票をいただき、3月10日(水)13時に会員9名立会の下に開票しました結果、加藤愛雄現評議員が下に示します通り、最高得票でありました。

開票結果 (有効投票数 65 票中 会員敬称略)

加藤愛雄 52票

永田武、大林辰蔵 各3票

上田弘之、力武常次 各2票

吉松隆三郎、福島直、百瀬寛一 各1票

の計65票であります。なお無効投票として、前田憲一1票、また上記会員もしくは他の会員を書かれた投票が、郵便遅着により開票後に到着したために無効とさせていただいたのが11票ありました。

加藤愛雄現評議員は次期学会委員長に就任下さることを御承諾下さいましたことを御報告いたします。前田現委員長は次期評議員として引続き学会の発展に御尽力下さいます。

次期評議員及び運営委員改選

次期(昭和40、41両年度)委員長に加藤愛雄現評議員が就任されることにさまりましたので、直ちに評議員及び運営委員の改選に移ります。この通知と共にお届けしております会員名簿を御参照の上、同封の投票用紙に評議

員及び運営委員に推薦される会員氏名をお書きの上御投票下さい。蛇足とは思いますが、評議員・運営委員の任務を学会規約から引用してみますと、

評議員……本学会賞の審査、他学会賞および奨励金などの受賞者の推薦、重要案件に関する運営委員会への助言。

運営委員……会務の処理（庶務、会計、学会誌刊行、渉外、講演会など、学会連合事務）

となっております。御投票に際しましては、専門分野別、地域別などのことも適当に御配慮下されれば幸甚です。なお同一人を評議員、運営委員の両方に推薦されても差支えありません（その人が評議員・運営委員の両方に当選しました場合には、本人がどちらか1つを選挙します）。ここで皆様方の御参考のために、第1期（昭和36、37両年度）、第2期（昭和38、39両年度）、にそれぞれ評議員及び運営委員を勧められた会員を紹介させていただきますと（敬称略）、

評議員（第1期）今道周一、上田弘之、加藤愛雄、金原 淳、関戸弥太郎、
田村雄一、高山久尚、前田憲一、宮崎友喜雄、吉松隆三郎、
10名

（第2期）上田弘之、加藤愛雄、金原 淳、関戸弥太郎、田村雄一、
永田 武、高山久尚、宮崎友喜雄、吉松隆三郎、カ武常次、
10名

運営委員（第1期）秋本俊一、太田柱次郎、小口 高、上山 弘、近藤一郎、
中田美明、平尾邦雄、福島 直、前田 坦、柳原一夫、
カ武常次、
11名

（第2期）秋本俊一、大林辰蔵、小口 高、上山 弘、北村正丞、
木村鷲根、近藤一郎、新野賢爾、中田美明、平尾邦雄、
福島 直、前田 坦、柳原一夫、
13名

となっております。運営委員の数が10名を超しているのは、投票の結果第10位が同数得票者が2名以上ありその場合規約により定数をこえて当選としたこと、ならびに長期海外出張者が当選した場合、運営委員会が実質10名で運営しうるように取計っていたためであります。

評議員・運営委員ともに留任を妨げません。但し選挙内規（1963年11月採択）に、「選挙に先立ち運営委員会の議を経て、現運営委員のうち若干名は当選した場合留任を辞退することができる。これらの氏名は予め全会員に通知する」との條項があります。昭和39年12月17日に開かれました運営委員会にお

さまして、福島直現運営委員は、今回の選挙で運営委員に当選しましても辞退する権利を行使することが承認されておりますことをここにお知らせ致しておきます。

投票締切 昭和40年4月14日(水)

開票日時 昭和40年4月15日(木) 18時 於 東京大学理学部
地球物理学教室会議室

会員各位の御投票をお待ちしております。なお今回も学会事務費節約のため、返信用封筒の切手を貼らないまま投票用紙を配布いたしましたこと御了承下さい。

また 郵便延着を見込まれて、折角の御投票が無効になりませんよう早目に御投票下さるようお願い致します。

また 今回は選挙用紙記入返送を学会講演申込書と共に学会事務所にお送り下さっても結構ですが、その際にはなるべく選挙用紙は返送用封筒に入れられて封をされ、それを、講演申込書と共に御送り下さるようお願いいたします。

選挙用紙と講演申込用紙を一しよに学会事務所あての返信用封筒に入れられました場合には、投票開票時まで手紙が開封されませんから、従って講演申込書も開票時まで、見られませんこと御承知おき下さい。

なお選挙開票結果はなるべく早い機会に皆様にお知らせするよう心がけます。学会の事務引継ぎは、今年春の学会の際に行なうことになっております。それまでの間の学会運営は現在の役員の方々が責任をもって行いますことを申し添えます。

第37回学会総会及び講演会

会報第16号にもお知らせ致しました通り、次回総会及び講演会は、東京において理化学研究所が世話担当機関になって昭和40年5月26～29日に行なわれることになりました。この会報に添えて講演申込用紙を添えて御送り致していますから御利用下さい。

講演申込締切： 昭和40年4月14日(水)

講演予稿集用アブストラクト提出締切： 5月1日(土)

講演申込及びアブストラクト提出先

東京都文京区弥生町3 東京大学理学部地球物理 福島 直
田中館賞候補論文推薦及び総会議題提案をされる方は、

5月1日(土)までに 前田憲一委員長(京都市左京区吉田、京都
大学工学部電子工学教室)宛にお願いいたします。

- 備考、
1. 学会講演申込用紙をもっと必要とされる方は、学会事務所に御
請求されるか、もしくは同じサイズ(B5版)の紙に、申込用紙
に書いてあります必要事項のみをお書き下されば結構です。
 2. 講演日時につきまして特別な御註文がおありの場合には講演申
込用紙にその旨お書き入れ下さい。
 3. 田中館賞候補論文を推薦されます方々は、申出が受理されます
と、当該論文推薦理由書及び当該論文別刷各12部を提出するよ
う依頼されますから、このことを予め御考慮の上御準備おき下
さい。
 4. 総会議題を提案されます方は、議題及び提案理由を書面にて学
会委員長あて御提出下さい。提案されました議題につきまして
は、総会前に運営委員会にて検討させていただきます。

学会プログラムは、おそくとも5月上旬までには、会場案内図、学
会講演会に関する御注意などとともに皆様の御手許にお届けする予
定であります。